令和３年度　川西市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和４年５月

川西市（兵庫県）

○計画期間：令和2年4月～令和7年3月（5年0月）

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

１．令和 3 年度終了時点（令和 4 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

本市では、第 1 期計画（平成 22 年 11 月～平成 26 年度）において、川西能勢口駅周辺の商業施設のリニューアル、イベントの実施などを行い、第 2 期計画（平成 27 年度～令和元年度）では、中央北地区特定土地区画整理事業によりキセラ川西せせらぎ公園、文化ホールや福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設、民間の大型商業施設などのキセラ川西地区の整備を進めてきた。第 3 期計画では、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性の向上や、働く場所や魅力的な場所を増やすことで様々な人が活躍する中心市街地を創造し、持続可能なにぎわいにつなげることを目標としている。

令和 3 年度は、長引く新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響もあり、イベント事業で中止せざるを得ないこともあったが、感染防止を徹底し、可能な取組を展開した。

ソフト事業では、令和２年度に引き続き、川西能勢口駅の南・北側ペデストリアンデッキをイベント活用する社会実験を６回開催し、ウィズコロナ時代のパブリックスペース活用の定着化を図っている。また、川西能勢口駅東側の藤ノ木さんかく広場では、イベント利用は 25 件に留まったものの、キッチンカーの出店が拡大し、同日複数の出店による日常的な活用が定着化してきている。さらに、同広場ではキッチンカーを使ったスタートアップ支援を行った結果、中心市街地内への実店舗の出店につながる成果もあった。

ハード事業では、令和 4 年に完了予定の（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センターの整備や、花屋敷団地建替事業が順調に進むとともに、民間マンション（２棟、計 102 戸）への入居も順次進められている。また、市道の拡幅工事等も順調であり通行利便性が向上している。加えて、新たにコワーキングスペースが立地し、まちづくりプレーヤーの交流や起業支援の拠点ができた。

これらの都市機能の増進が進んだことなどから、計画前年度に比べて中心市街地の居住人口が 347 人増加、地価公示の平均が 54,500 円上昇しており、今後においても居住や出店ニーズの高まりが期待される。

引き続き、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区を合わせた中心市街地のにぎわいづくりを推進するため、新規出店や起業者の支援、交流拠点の整備により多くの人が活躍するまちとしての魅力を高めるとともに、清和源氏まつりの開催や各商業施設、イベント主催者などとの連携により回遊性の向上を図る。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（1）居住人口　　（基準日：毎年度３月３１日）

（中心市街地区域）	令和元年度（計画前年度）	令和２年度（１年目）	令和３年度（２年目）	令和４年度（３年目）	令和５年度（４年目）	令和６年度（５年目）
人口	8,769	8,763	9,116			
人口増減数	-32	-6	353			
自然増減数	-57	-46	-41			
社会増減数	33	32	415			
転入者数	395	403	674			

（2）年間販売額（小売業）　　（単位：百万円）

（中心市街地区域）	平成30年度（基準値）	令和元年度（計画前年度）	令和２年度（１年目）	令和３年度（２年目）	令和４年度（３年目）	令和５年度（４年目）	令和６年度（５年目）
市全体	133,905	133,905	133,905	133,905			
中心市街地	45,645	45,645	45,645	45,645			

※最新値である「経済センサス活動調査（平成28年度）」より。

（3）商店数（小売業）　　（単位：件）

（中心市街地区域）	平成30年度（基準値）	令和元年度（計画前年度）	令和２年度（１年目）	令和３年度（２年目）	令和４年度（３年目）	令和５年度（４年目）	令和６年度（５年目）
市全体	655	655	655	655			
中心市街地	192	192	192	192			

※最新値である「経済センサス活動調査（平成28年度）」より。

（4）事業所数（宿泊業・飲食サービス業）　　（単位：件）

（中心市街地区域）	平成30年度（基準値）	令和元年度（計画前年度）	令和２年度（１年目）	令和３年度（２年目）	令和４年度（３年目）	令和５年度（４年目）	令和６年度（５年目）
市全体	502	502	502	502			
中心市街地	144	144	144	144			

※最新値である「経済センサス活動調査（平成28年度）」より。

（5）地価 （単位：円/㎡）

（中心市街地区域）	平成30年度（基準値）	令和元年度（計画前年度）	令和２年度（１年目）	令和３年度（２年目）	令和４年度（３年目）	令和５年度（４年目）	令和６年度（５年目）
相続税路線価平均	－	－	238,750	247,500			
アステ川西東側	340,000	380,000	420,000	440,000			
県道12号線川西市役所西交差点北	210,000	215,000	235,000	240,000			
川西市役所前交差点北	165,000	170,000	185,000	185,000			
豊川橋山手線（オアシスタウン南）	－	－	115,000	125,000			
地価公示平均	359,000	394,000	430,000	448,500			
川西 5-1	445,000	500,000	550,000	575,000			
川西 5-4	273,000	288,000	310,000	322,000			

※調査基準日：各年１月１日、公表：地価公示 3月下旬、相続税路線価：7月１日

※豊川橋山手線（オアシスタウン南）の相続税路線価：平成 30 年度及び令和元年度は路線価算定対象外。

２．令和３年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和３年度、中心市街地活性化協議会では、関係団体等と協議・調整を重ねながら、様々な提案や実施を行い、すべての目標指標において前年度より数値が上昇する結果に寄与した。

中心市街地の現況としては、キセラ川西地区への来街や複数の民間マンションの完成による居住人口の増加もあり、この影響が地価の上昇にもつながっているとみられる。

さらに令和４年度には（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター及び花屋敷団地の建替工事が完成する予定であることから、来街者・居住人口ともに増加が予想される。

また、中心市街地空き店舗等出店支援補助金では複数の飲食店・小売店の魅力の向上を支援し、コワーキングスペース開設支援補助金では中央町内に１件の立地を支援した。これらの取り組みにより中心市街地への来街目的が増加し、魅力度の高まりが創出されている。

歩行者・自転車通行量（休日）は、「駅前ピクニックマルシェ」と題して社会実験を計６回開催したこともあり昨年度より増加したが、地点別でみるとコロナ禍の影響により基準値の水準まで回復していないところもある。

今後、当協議会や中活事業の実施体制の再構築を進め、地域の商業者・商業施設・関係団体・市民の参加促進と連携強化を図り、まちのにぎわいの創出、商業の活性化に取り組む。

Ⅱ．目標ごとのフォローアップ結果

1．目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量（休日）	44,177 人/日（H30）	46,547 人/日（R6）	44,829 人/日（R3）	B	①	①
	中心市街地の居住人口の社会増	126 人/年（H27-30 平均）	194 人/年（R2-6 平均）	224 人/年（R2-6 平均）	A	①	①
魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業者数	4 人/年（H30）	22 人/年（R6）	10 人/年（R3）	B	①	①
	新規出店数	5 店/年（H30）	23 店/年（R6）	25 店/年（R3）	A	①	①

＜基準値からの改善状況＞
A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

＜目標達成に関する見通しの分類＞
①目標達成が見込まれる　②目標達成が見込まれない
※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ１、２とする。

2．目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」は、川西能勢口駅周辺の計測地点である、アステ川西南側の歩行者デッキと川西能勢口駅南側の歩行者デッキは例年歩行者通行量が多い傾向にある。

アステ川西南側の歩行者デッキは、川西能勢口駅と川西池田駅の乗り換えが多い地点であり、昨年度の大幅な減少からは回復したものの、基準値の水準までは戻っていない。一方で、川西能勢口駅南側の歩行者デッキでは、「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な開催で来街を促進したこともあり、基準値を上回る歩行者通行量があった。今後、川西能勢口駅周辺の通行量はコロナ禍の収束につれて増加していくと見込んでいる。

また、キセラ川西地区の 2 地点は、商業施設の充実や、令和 4 年 9 月に開院予定の（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センターの整備や民間マンションの建設等が進むにつれて、通行量が増加し目標達成は可能と見込まれる。

「中心市街地の居住人口の社会増」は、令和 3 年度に複数の民間マンションが完成したことで、転入者数が大幅に増加し、目標値を上回った。令和 4 年度には、花屋敷団地建替事業の完了による社会増が想定され、引き続き目標達成は可能と見込まれる。

「新規起業者数」は、令和３年度にコワーキングスペース運営支援事業や中心市街地空き店舗等出店支援事業、中心市街地企業者支援事業で継続的にセミナーを開催したもあり、着実に増加している。今後も新規起業者支援を継続することで、目標達成は可能と見込まれる。

「新規出店数」は、令和 3 年度に、中心市街地空き店舗等出店支援事業により新規出店を支援したことなどにより、令和 2 年度に続き目標を達成した。これらの取り組みを継続することで、目標達成を見込んでいる。

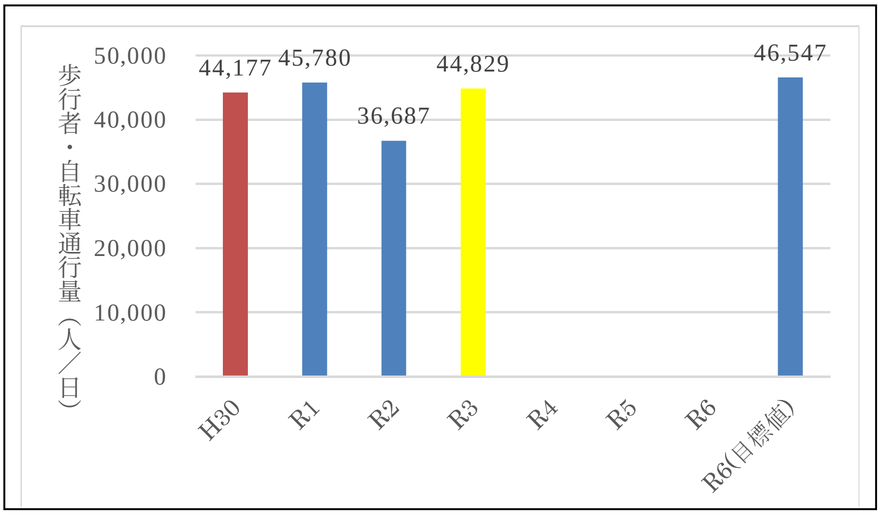
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

見通しの変更がないため、記載なし。

４．目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「歩行者・自転車通行量（休日）」※目標設定の考え方認定基本計画 P.75～P.79 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
H30	44,177 人/日 （基準年値）
R1	45,780 人/日 （計画前年度）
R2	36,687 人/日
R3	44,829 人/日
R4	
R5	
R6	46,547 人/日 （目標値）

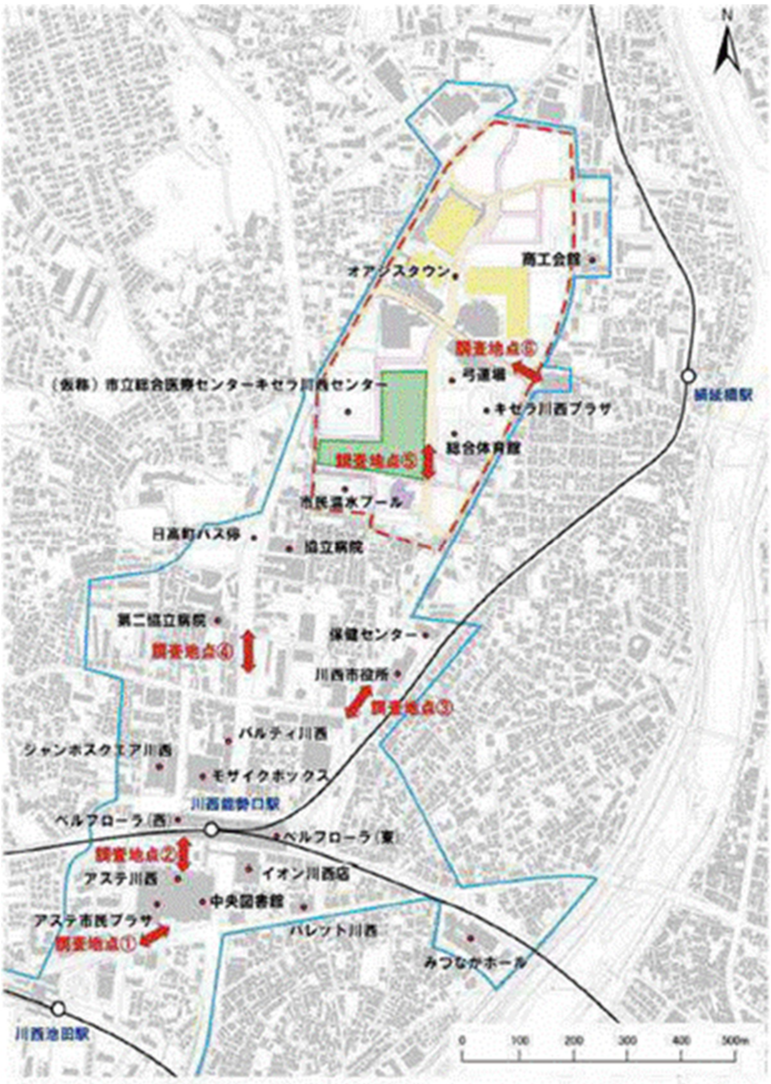
※調査方法： 歩行者・自転車通行量調査

※調 査 月： 毎年 10 月実施

※調査主体： 川西市中心市街地活性化協議会

※調査対象： 中心市街地における休日 6 地点の歩行者及び自転車数

【歩行者・自転車通行量調査地点】



（単位：人）

	平成30年度 （基準年）	令和元年度 (計画前年度)	令和２年度 （１年目）	令和３年度 （２年目）	令和４年度 （３年目）	令和５年度 （４年目）	令和６年度 （５年目）
地点①	11,120	11,220	9,162	10,800			
地点②	20,924	20,547	17,751	22,803			
地点③	2,039	2,718	2,832	3,135			
地点④	1,934	2,847	2,544	3,117			
地点⑤	―	―	1,953	1,251			
地点⑥	―	―	2,445	3,723			
合計	36,017	37,332	36,687	44,829			

※地点⑤、地点⑥は令和２年度から新たに追加したため、平成 30 年度と令和元年度は空白。

〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業の進捗は、コロナ禍による緊急事態宣言などにより一部実施できないものがあったが、概ね予定どおり進んでいる。

地点①・②は、川西池田駅と川西能勢口駅をつなぐ地点であるため、例年最も歩行者通行量が多くなる。アステ川西南側の歩行者デッキでは、前年度の大幅減からは回復したがコロナ禍による出控えから基準値の水準までは戻っていない。

一方で、川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、デッキ上で音楽や食事、雑貨販売を行う社会実験「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な実施で多くの来場者があり、基準値を上回った。

令和４年度以降、中活区域内の人口増やコロナ禍の収束状況により歩行者数は増加すると見込んでいる。

地点⑤・⑥は、キセラ川西地区の活性化の状況を測るため、令和２年度から新規追加した地点である。今後、（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センターの整備や民間マンションへの入居が進むことから、歩行者・自転車通行量は増加していくことが見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．51：グリーンスローモビリティ導入事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性向上を図るために、グリーンスローモビリティの運行について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】640 人増加 【最新値】現在算定 0 人増加 令和 3 年度は、地域公共交通会議での事業計画の策定等の審議を行った。
事業の今後について	市内公共交通に係る検討と協調して進める必要があるため、地域公共交通計画の策定に合わせて、中心市街地の回遊性のための交通のあり方を検討する

②．6：（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和２年度～令和４年度【実施中】 [認定基本計画：令和２年度～令和４年度]
事業概要	将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供していくため、市北部から市立川西病院を移設する。その結果としてキセラ川西地区の都市機能が増進することで、安心して暮らせるまちを創造する。
国の支援措置名及び支援期間	公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和 2 年度～令和 4 年度） [認定基本計画：公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和 2 年度～令和 4 年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2,700 人増加 【最新値】現在算定 0 人増加 新病院の建設工事は令和 2 年 10 月に着工し、工程通り遅滞なく進捗している。

	現在、内装工事を引き続き進めており、先行する病棟階では令和 4 年 3 月から順次美装および施工者による自主検査を行っている。外構工事は、令和 4 年 3 月から周辺道路等の工事に取り掛かっている。
事業の今後について	令和 4 年 9 月の開院に向けて、建築工事は滞りなく進んでいる。 また、電子カルテの入札が令和 3 年度中に完了し、医療機器等は概ね入札が完了しており、残る医療機器等も計画どおりに進めていく予定である。

③．10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値･最新値及び進捗状況	【事業目標値】(60 戸×2.42 人)×48.1%×3×2　420 人増加 【最新値】60 戸×2.42 人×48.1%×3×2　420 人増加 令和 3 年度は、１次本移転が完了し、当初の計画通り建替工事を進めることができた。
事業の今後について	令和４年度は、２次本移転を予定しており、10 月末竣工予定。

④．11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】(80 戸×2.42 人)×48.1%×3×2　560 人増加 【最新値】（134 戸+273 戸）×2.42 人×48.1%×3×2　2,842 人増加 順調に工事は進み、令和 2 年夏頃から建設の始まった民間マンションが完成した他、令和 3 年度に中心市街地で新たに合計 8 棟の民間マンションが完成した。
事業の今後について	令和 3 年度に完成した民間マンションのうち 2 棟は、令和 4 年 2 月下旬より居住者へ順次引渡されており、令和 4 年度以降も引き続き転入による居住者の増加により、にぎわいの創出が期待される。

⑤. 25：藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	藤ノ木さんかく広場と隣接しているポケットパークを道路管理者と連携し、広場の利用と合わせて一体的に活用することで相乗的なにぎわい創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,200 人増加 【最新値】基準年比地点③1,096 人+地点④1,183 人＝2,279 人増加 藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークの活用を検討するためのイベントは実施できなかった。
事業の今後について	北側ポケットパークの活用をより円滑かつ効果的に行うため、当地を認定道路区域の指定を外し、普通財産として藤ノ木さんかく広場と一体的に活用することを検討する。

⑥. 24:ペデストリアンデッキにぎわい活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	歩行者は多いもののこれまで有効活用されていなかった川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】500 人×2 地点×2 回　2,000 人増加 【最新値】基準年比地点①▲320 人+地点④1,183 人＝863 人増加 「駅前ピクニックマルシェ」と題し、社会実験を計 11 回開催する予定であったが、コロナ禍による緊急事態宣言等により 6 回の開催にとどまった。また、イベント開催後に道路管理者と弾力的な道路占用の許可条件や今後の方向性についての協議を行った。
事業の今後について	令和 4 年度は、「駅前ピクニックマルシェ」を計 11 回開催予定である。また、活用を希望する団体を募集し、イベント実施をサポートする予定である。本取り組みを通して、ペデストリアンデッキの活用方法や、弾力的な道路占用の許可条件について、道路管理者と協議を進めていく。

⑦. 3:都市計画道路豊川橋山手線整備事業（川西市）

事業実施期間	平成 26 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏

	切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図り、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成 26 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点⑥1,278 人増加 令和 3 年度は過年度に引き続き、歩道整備及び道路拡幅工事を実施した。交通量の多い条件下に加え、地中埋設物の移設等に時間を要したことから、進捗に遅れが生じた。
事業の今後について	令和４年度は１０月末の事業完了に向けて、工事を進めていく。

⑧．4:市道 1313 号（日高町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和４年度【実施中】
事業概要	市道 1313 号の道路拡幅を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業）（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点⑤▲702 人増加 令和 3 年度は歩道整備及び道路拡幅工事を実施した。事業の計画通りに進捗した。
事業の今後について	令和４年度は歩道整備を引き続き実施し、８月末の事業完了に向けて、工事を進めていく。

⑨．5:市道 3 号（中央町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和６年度【実施中】
事業概要	都市計画道路鶴之荘花屋敷線の歩道整備を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③1,096 人増加 令和 4 年 2 月から道路工事に先立って占用者工事を開始するなど、概ね順調に進んでいる。
事業の今後について	令和 4 年度は歩道整備を実施するとともに、事業用地の確保に努める。

⑩．55:清和源氏まつり（清和源氏まつり実行委員会、川西市観光協会、川西市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史的な観光行事「清和源氏まつり」をキセラ川西せせらぎ公園など中心市街地において実施することで、中心市街地ににぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③1,096 人増加 令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 令和 4 年度は 4 月 10 日に開催。感染拡大防止の観点から、キセラ川西せせらぎ公園でのイベントは中止となったが、懐古行列のみ実施した結果、観覧者として約 7,000 人が集まった。
事業の今後について	中心市街地でのイベントの核となるキセラ川西せせらぎ公園において、市内事業者と連携した企画などを実施することで、事業実施後も継続的ににぎわいを創出できるような仕組みをつくるとともに、市内外に「清和源氏発祥の地　川西」を PR していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

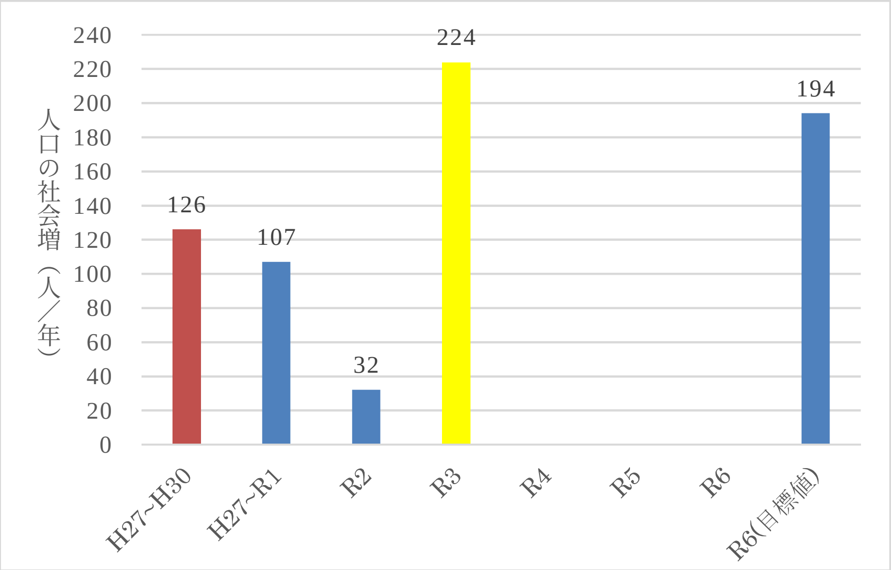
歩行者・自転車通行量の増加に向けた事業について、主要事業は概ね予定通り進んでいる。歩行者・自転車通行量は、コロナ禍の影響からは回復傾向にあるが、地点①では、基準値の数値までの回復には至っていない。一方で、地点②では、令和 3 年度に実施したペデストリアンデッキを活用した社会実験イベントを継続的に実施したことにより、歩行者通行量の増加につながった。今後デッキを様々な主体が活用することで、駅前のにぎわいの創出及び歩行者通行量の増加につなげていく。

また、川西能勢口駅前とキセラ川西地区をつなぐ地点③・④では、歩行者通行量、自転車通行量ともに大幅に増加している。

今後は、川西能勢口駅前とキセラ川西地区をつなぐエリアの空き店舗への新規出店や（仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター整備、交通利便性向上の検討に取り組む。

（２）「中心市街地の居住人口の社会増」※目標設定の考え方認定基本計画 P.80～P.81 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
H30	126 人/年 （H27～H30 平均） （基準年値）
R1	107 人/年 （H27～R1 平均） （計画前年度）
R2	32 人/年 （R2～R6 平均）
R3	224 人/年 （R2～R6 平均）
R4	
R5	
R6	194 人/年 （R2～R6 平均） （目標値）

※調査方法： 住民基本台帳データから毎年度の人口社会増を集計
※調 査 月： 毎年 3 月 31 日現在
※調査主体： 川西市
※調査対象： 中心市街地エリア

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口の社会増に向けた各事業は、予定通り進んでおり、人口の社会増は目標値を達成した。対象 10 地域を地域別に分けて傾向をみると、火打 1 丁目が最も大きな社会増を計上しており、合計 9 棟の民間マンションが完成したことが主要因と考えられる。また、令和 3 年度末で川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備が完了しており、社会資本の充実が、住みたい、住み続けたいと思える地域としてのイメージアップにもつながっていると考える。

令和 4 年度には、花屋敷団地建替事業が完成することで、転入による社会増が見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】60 戸×2.42 人 146 人 【最新値】60 戸×2.42 人 146 人 令和 3 年度は、１次本移転が完了し、当初の計画通り建替工事を進めることができた。

事業の今後について	令和４年度は、２次本移転を予定しており、10月末竣工予定。

②．11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】80戸×2.42人　194人 【最新値】（134戸+273戸）×2.42人　985人 順調に工事は進み、令和２年夏頃から建設の始まった民間マンションが完成した他、令和３年度に中心市街地で新たに合計９棟の民間マンションが完成した。
事業の今後について	令和３年度に完成した民間マンションのうち２棟は、令和４年２月下旬より居住者へ順次引渡されており、令和４年度以降も引き続き転入による居住者の増加により、にぎわいの創出が期待される。

③．7:川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備（川西市）

事業実施期間	令和元年度～【済】
事業概要	質の高い教育・保育サービスを提供するため、川西北幼稚園と川西北保育園の一体化を進め、幼保連携型認定こども園を整備することで、子育て世代を中心市街地に呼び込み、定住人口の増加をめざす。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和２年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】まちなか滞留・実感調査　令和２年度比 「ここで暮らしてみたいと感じる」6.3%増加 令和４年４月１日より、川西市立川西北こども園（幼保連携型認定こども園）を開設することができた。
事業の今後について	本一体化施設整備については完了となったが、子育て世代の利用を促進し、定住人口の増加に努めていく。

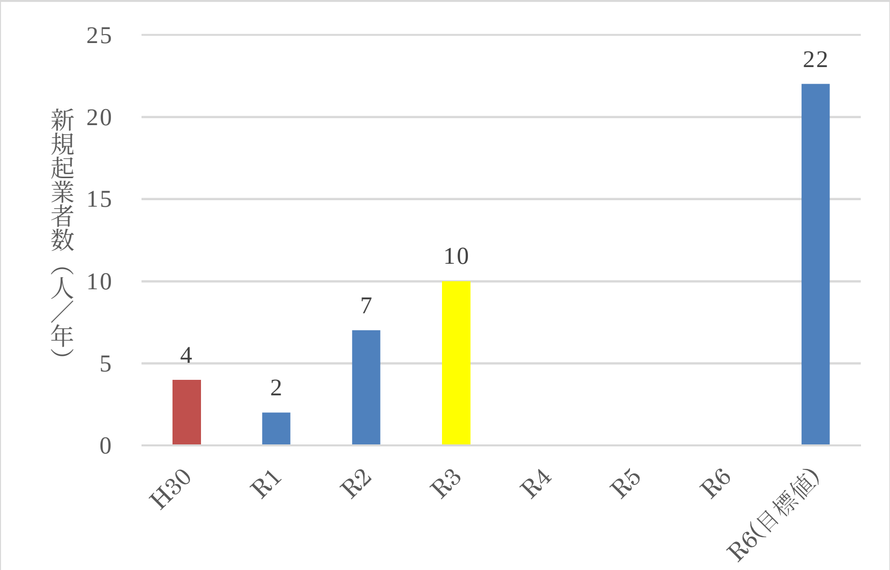
●目標達成の見通し及び今後の対策

人口の社会増に向けた主要事業は予定通り進捗しており、人口の社会増は目標値を達成した。

令和４年度には、花屋敷団地建替事業が完成予定であり、花屋敷１丁目の市内転居者の増加が見込まれる。また、キセラ川西地区に建設された２つの民間マンションが令和４年２月下旬より居住者へ順次引渡されており、令和４年度に転入する居住者も多いと考えられることから、引き続き転入者が増加することが見込まれ、目標は達成されると考えている。

（３）「新規起業者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.82～P.83 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
H30	4 人 （基準年値）
R1	2 人 （計画前年度）
R2	7 人
R3	10 人
R4	
R5	
R6	22 人 （目標値）

※調査方法：　経済センサスによる調査、市及び市商工会での聞き取り調査
※調 査 月：　毎年 3 月 31 日現在
※調査主体：　川西市
※調査対象：　中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に起業した者

〈分析内容〉

令和 3 年度にコワーキングスペース運営支援事業及び中心市街地空き店舗等出店支援事業で新たな補助事業を開始し、新規起業者への支援を行ったことにより、新規起業者数は令和 2 年度より増加し、着実に上昇している。一方で、仕入価格等の高騰の影響も出ており未だ目標の半数程度の数値に留まっている。今後、各事業や開設されたコワーキングスペースの周知を進めながら、中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業者支援事業を継続して実施することで、さらに起業者が増えることが予想される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．21:コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和 2 年度～令和 3 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数 500 人×想定企業割合 2%＝10 件 【最新値】現在算定 0 件 令和 3 年度は「コワーキングスペース開設支援事業」として、審査により採択された 1 件の事業者に、開設経費や家賃の一部を補助し、コワーキングスペースの開設を支援し、令和 4 年 4 月 1 日にオープ

	ンした。
事業の今後について	今後、家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげていく。

②．13:中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間 3 件 【最新値】新規出店者＝年間 5 件 令和 3 年度から、中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後 6 か月経過後から 1 年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、3 件の事業者を採択し補助した。この他に 2 件の出店があり、新規出店は計 5 件あった。
事業の今後について	令和 3 年度から、中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後 6 か月経過後に 1 年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③．14:中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和 2 年度） ［認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）］
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者 20 人×25%＝5 件 【最新値】5 件 ウィズコロナに対応し、オンラインを活用したセミナーを中心に、13 名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付け、5 件が起業した。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

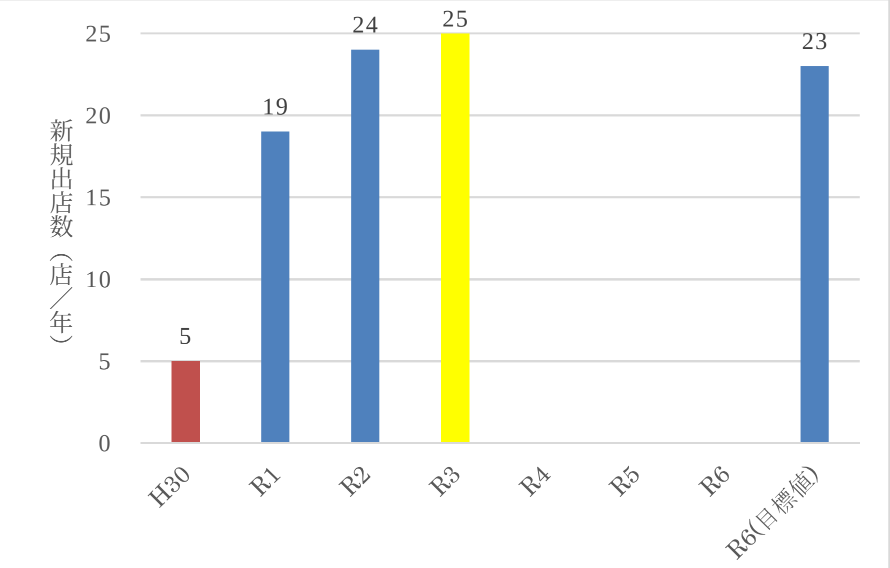
●目標達成の見通し及び今後の対策

コワーキングスペース運営支援事業や中心市街地空き店舗等出店支援事業を実施し、中心市街地区域内に 1 件のコワーキングスペース及び 3 件の新規店舗の出店を支援した。また、市や商工会で実施した起業支援事業セミナーを通じて 10 人の新規起業者が誕生した。

今後も、中心市街地が新たな活力が生まれる場所、育まれる環境となるよう継続して事業を実施していく。

（3）「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.84～P.85 参照

●調査結果と分析



年	（単位）
H30	5 店 （基準年値）
R1	19 店 （計画前年度）
R2	24 店
R3	25 店
R4	
R5	
R6	23 店 （目標値）

※調査方法： 川西市商工会及び川西市中心市街地活性化協議会への聞き取り調査及び目視調査
※調 査 月： 毎年 3 月 31 日現在
※調査主体： 川西市
※調査対象： 中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に出店した者

〈分析内容〉

令和 3 年度に募集を開始した中心市街地空き店舗等出店支援事業の効果もあり、新規出店数が増加し目標達成した。令和 4 年度も増加すると予想される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和 2 年度～令和 3 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数 500 人×想定企業割合 2%＝10 件 【最新値】現在算定 0 件

	令和３年度は「コワーキングスペース開設支援事業」として、審査により採択された１件の事業者に開設経費や家賃の一部を補助し、コワーキングスペースの開設を支援し、令和４年４月１日にオープンした。
事業の今後について	今後、家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげていく。

②．13:中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和２年度～令和６年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間３件 【最新値】新規出店者＝年間５件 令和３年度から、中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して改装費や開店後６か月経過後から１年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、３件の事業者を採択し補助した。この他に２件の出店があり、新規出店は計５件あった。
事業の今後について	令和３年度から、中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後６か月経過後に１年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③．14:中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（総務省）（令和２年度） ［認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和２年度～令和６年度）］
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者 20 人×25%＝5 件 【最新値】5 件 ウィズコロナに対応し、オンラインを活用したセミナーを中心に、13 名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付け、5 件が起業した。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォ

	ローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和 3 年度に、中心市街地空き店舗等出店支援事業により、小売業、飲食業の出店支援したことで、令和 2 年度に続き目標を上回る 25 件の新規出店があった。令和 4 年度は、各事業の周知を進めながら継続して実施することで、更なる増加につなげていく。